

経済指標ウォッチャー

# 米ISM非製造業景況感指数 小幅に改善

雇用面の景況感が50を上回る水準に回復

## ISM非製造業景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）がサービス業を中心とする非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国の非製造業の景況感を示す指標のひとつ。毎月第3営業日に公表される。米国GDP（国内総生産）において非製造業は全体の約7割を占めていることから、製造業景況感指数より重要と考える投資家も多いと言われる。製造業景況感指数と同様、50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

## 2020年9月は市場予想を上回る改善

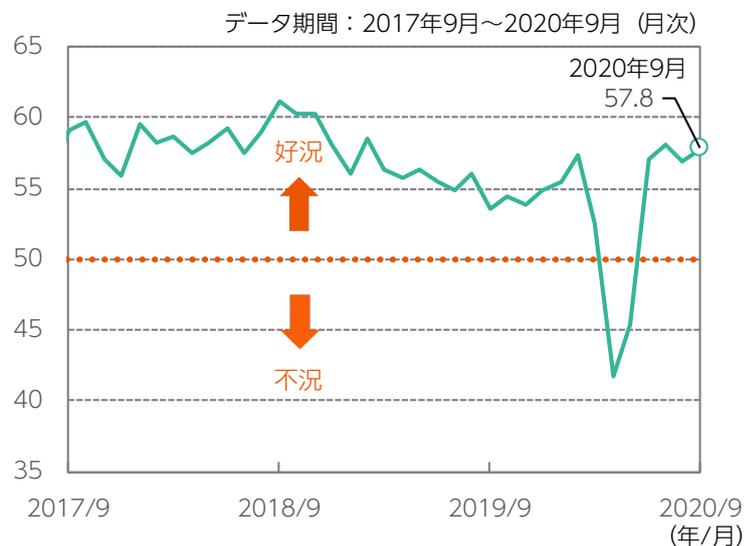
全米供給管理協会(ISM)が10月5日に公表した、2020年9月の非製造業景況感指数は57.8と前月の56.9から改善し、事前の市場予想である56.2も上回りました(図表1)。4カ月連続で好不況の判断の節目である50を上回っています。業種別ではサービス業の18業種中16業種において活動拡大がみられ、幅広い業種において景気への楽観的な見方が広がりつつあるようです。

## 雇用の景況感が50を回復

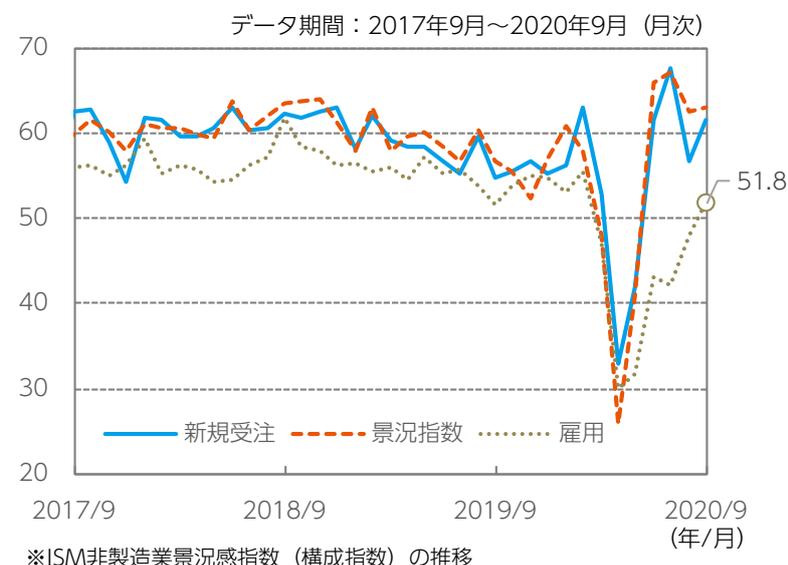
構成指数別では、新規受注が61.5(前月比+4.7)、景況指数が63.0(同+0.6)、雇用が51.8(同+3.9)と改善しました(図表2)。雇用については2020年2月以来の50超えとなりました。米国労働者の7割程度を占めるサービス業において雇用の拡大がみられたことは、米国経済の本格的な回復に向け、弾みがつく内容となったと考えられます。

9月の雇用指数が50を上回ったものの、引き続き高止まりする新型コロナウイルス新規感染者数や航空会社をはじめとした大手企業の人員削減などの懸念材料があります。雇用の改善を維持するためにも、議会審議中である追加経済対策の早期妥結が望まれます。

図表1：2020年9月は市場予想を上回る改善



図表2：雇用の景況感が50を回復



## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>